

令和7年度ひろしま自然保育推進事業 活動報告書

令和8年4月30日

団体所在地 広島市安佐南区沼田町阿戸
団体の名称 戸山の森のようちえん おてんとさん
職・氏名 園長 今田典子

1 活動報告

【4月～6月】(春季)

入園式・にじみ絵・母の日のプレゼント作り・防災訓練・子どもの日の会・田植え・お父さんの日
プラネタリウム遠足

【7月～9月】(夏季)

ボディペイント・染物・川遊び・七夕会・年長お泊り会・平和公園に折り鶴奉献・そうめん流し
親子キャンプ・防災訓練・救命救命講習

【10月～12月】(秋季)

登山・お月見の会・交通安全教室・公民館祭りで作品展示・卒園登山・ミツロウキャンドル作り
クリスマス会・しめ縄づくり・大掃除・餅つき・防災訓練

【1月～3月】(冬季)

米麴造り・味噌作り・紙漉き・年長小学校見学・節分・ひな祭り・お父さんの日・卒園式

活動報告(詳細)

1シーズンにつき最も印象的だった活動のエピソード1つご記入してください。
エピソードは、活動プロセス、保育者の関わり、子どもの育ちの見取りを端的にお願いします。
写真は基本1枚です。

【4月～6月】



田植えに向けて水を入れた田んぼで特別に泥んこ遊びをします。
天気や田植えの準備の合間をぬって思い切り泥んこ遊びができるのはこの時期だけです
様子を見ながら田んぼのほとりで遊んでいた子も
ざぶざぶ泥で遊ぶ子につられてみんな泥だらけに
スタッフも泥んこになって走り回りながら
大人も子どもも思う存分満喫します

【7月～9月】



5月に植えた苗を9月に稲刈りをしました
保護者や兄弟にも参加してもらい
みんなで手刈りとはで干しをします
足場がぬかるみ悪戦苦闘しながらも鎌を持って稲を刈り
もち米を干すことが出来ました
自分たちの植えた小さな苗からたわわにもち米が実った稲穂になり
脱穀・精米を経てお餅になるまでをみんなで体験しました
大変な作業も、美味しいお餅を食べることを楽しみにみんなやり遂げてくれました

【10月～12月】



もち米を脱穀した後に残しておいた餅藁を使ってしめ縄づくりをしました。
保育スタッフと地域の人が藁のない方を指導しながら、南天・ゆずり葉・松葉・裏白など自分たちで森で採取した素材で飾り本格的なしめ飾りを完成させました。
いつもお世話になっている古民家の玄関やお家に飾り年越しの準備をしました。
田植えに始まり稲刈り・餅つき・しめ飾りづくりと小さかった苗からたくさんの広がりをみんなで知ることが出来、季節に沿った行事を楽しむことが出来ました。

【1月～3月】



2月にはおほしさまの日(お父さんの日)がありました。
いつも子どもたちが駆け回っている森に来たお父さんたちは、子どもたちが難なく駆け登っていく斜面の傾斜や、子どもたちのスピードに圧倒されます。
子どもたちが先導し、それに付いていくお父さんも童心に帰るようで一緒になって岩を動かしたりお家作り夢中になります。
なかなか森での姿を見ることが少ないお父さんたちだからこそ、沢山の気づきや子どもたちの成長を感じてくれました。

2 その他(自然体験活動の実施における今年度のプロセス)

- ・ 職員の資質向上について

子どもたちへの読み聞かせの質向上の為に絵本講座を受講(10月)
危険生物・事故予防の安全講習を受講(6月・7月)

- ・ 地域との関わりについて

公民館祭りにて作品展示(10月)
小学校で行われた、小学4年生による旧街道探検に参加

- ・ 保護者との関わりについて

月に一度は保育中に保護者さんに入ってもらいひとりおつきさんをする
保護者さんが遊びや学びを企画するおつきさんの日を毎月行う
畑づくりや収穫
親子参加の田植え・稲刈り・餅つき
親子キャンプ

